

発行所  
**石川県保険医協会**  
 〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号  
 太陽生命金沢ビル6階  
 ☎(076)222-5373番 FAX(076)231-5156番  
 編集部E-mail; iskw\_sugino@doc-net.or.jp  
 発行人 井沢宏夫  
 印刷所 ソノダ印刷株式会社  
 購読料 1年間5,000円(〒共)  
 (※本紙の購読料は会費に含まれます)

# 石川保険医新聞

**主な記事**

2面 保団連代議員会  
 第2休業保障案内

3面 国民保護法・講演会  
 第32回定期総会案内

4面 寄稿「病院は今・・・」

今月の会員数/1004人(医科723人・歯科281人)



ギター独奏：広崎晃雄 (小松市・広崎外科医院)

## ドクターズ・ファミリー・コンサート・2007

### 過去最高の12組が出演

機関紙・文化部員 **北山 吉明** (金沢市・形成外科)

石川県保険医協会の恒例文化行事でありますドクターズ・ファミリー・コンサート・2007が、一月十三日(土)に金沢アートホールで開催されました。本格的な音楽ホールで二年ぶりのコンサートということで、会員、家族、スタッフ、友人といった多くの参加者がありました。

コンサートは、井沢宏夫会長のあいさつで始まり、司会の大平政樹理事は、前回に続いての大役です。あらかじめ勉強したノートを手に、ゆっくりと落ち着いた語り口で、格調高くコンサートを進めてくれました。

プログラムは、声楽独唱が五題、ギター独奏および二重奏が三題、ピアノ独奏、篠笛独奏、フルート独奏、木管四重奏が各一題と、変化に富んだものになりました。

コンサート常連の勝木、



フルート独奏：萩野知己 (金沢市・おぎの胃腸科クリニック)

会場に来られた方からは、「本当に楽しいコンサートでした」「いろんなジャンルの音楽が聴けて楽し

ました。コンサートは、井沢宏夫会長のあいさつで始まり、司会の大平政樹理事は、前回に続いての大役です。あらかじめ勉強したノートを手に、ゆっくりと落ち着いた語り口で、格調高くコンサートを進めてくれました。

プログラムは、声楽独唱が五題、ギター独奏および二重奏が三題、ピアノ独奏、篠笛独奏、フルート独奏、木管四重奏が各一題と、変化に富んだものになりました。

コンサート常連の勝木、



独唱：勝木育夫 (小松市・勝木医院)



篠笛独奏：村田祐一 (金沢市・むらた小児科医院)



独唱：佐川元保 (内灘町・金沢医科大学呼吸器外科)



独唱・二重唱：北山吉明(金沢市・北山クリニック) 北山杏子

「音楽を通して、保険医協会会員と家族、スタッフ、患者さんとの間に、新たなコミュニケーションの場が築かれたなら、こんなうれしいことはありません。

「本場にいられた方からは、「本当に楽しいコンサートでした」「いろんなジャンルの音楽が聴けて楽し



バリトン独唱：藤村和昌 (金沢市・藤村有松眼科医院)



ギター二重奏・歌：狩野宏成(金沢市・かりの眼科医院) 牛村 繁(白山市・うしむら眼科クリニック)



ピアノ独奏：江守麻衣子 (金沢市・江守歯科医院)



独唱：高松佳緒里 (金沢市・内科高松医院)



ギター独奏：長山郁生 (金沢市・長山耳鼻咽喉科医院)



木管四重奏：Misty (ミスティ) 万年美加 (金沢市・江守歯科医院)、両川いつみ 竹谷香織、寺井慎吾



司会：大平政樹 (金沢市・大平クリニック)

**『保険医の経営と税務』**  
 2007年度版  
**ご希望の会員に無料で差し上げます**  
 詳しくは4面参照

毎年冬になると、太平洋側の気候をうらやましいと思ってきたが、今年の北陸は雪が降らない。除雪をする必要もなく、ただ寒いだけで普段と変わらない生活を送ることができた。昨年が豪雪だっただけに、なおのこと暖冬のありがたさが身にしみる。

この暖冬の原因は、エルニーニョ現象が影響していると言われている。エルニーニョ現象とは、南米ペルー沖の海面の水温が上昇する現象で、これが発生すると大気の流れ活動が変化し、北極周辺の偏西風の蛇行は小さくなり、寒気の南下が妨げられ、西高東低の冬型の気圧配置が長続きせず暖冬になるようだ。

エルニーニョ現象が発生する原因はまだはっきり分かっていないが、地球温暖化と関係があるとも言われている。この暖冬も地球温暖化の影響かと考えると、いくら生活が楽でも手放しで喜んではいけない。

もっとも、スキー場関係者をはじめ、農家の人たちなど異常気象によって困っている人も大勢いるわけで、やはり異常気象は決して喜ばしいことではない。だからと言って大雪になることを望むわけにもいかず、われわれができることは、一人ひとりが環境問題を真剣に考えていくことしかないのである。

さて、この新聞が送られるころには、雪は積もっているだろうか？

**医心凡語**

毎年冬になると、太平洋側の気候をうらやましいと思ってきたが、今年の北陸は雪が降らない。除雪をする必要もなく、ただ寒いだけで普段と変わらない生活を送ることができた。昨年が豪雪だっただけに、なおのこと暖冬のありがたさが身にしみる。

この暖冬の原因は、エルニーニョ現象が影響していると言われている。エルニーニョ現象とは、南米ペルー沖の海面の水温が上昇する現象で、これが発生すると大気の流れ活動が変化し、北極周辺の偏西風の蛇行は小さくなり、寒気の南下が妨げられ、西高東低の冬型の気圧配置が長続きせず暖冬になるようだ。

エルニーニョ現象が発生する原因はまだはっきり分かっていないが、地球温暖化と関係があるとも言われている。この暖冬も地球温暖化の影響かと考えると、いくら生活が楽でも手放しで喜んではいけない。

もっとも、スキー場関係者をはじめ、農家の人たちなど異常気象によって困っている人も大勢いるわけで、やはり異常気象は決して喜ばしいことではない。だからと言って大雪になることを望むわけにもいかず、われわれができることは、一人ひとりが環境問題を真剣に考えていくことしかないのである。

さて、この新聞が送られるころには、雪は積もっているだろうか？



# 第2回保団連代議員会報告

## 目的推進のために熱い議論

理事 平田 米里 (野々市町・歯科)



全国から300人が集まり熱気のこもった会場

二〇〇七年一月二十八日、東京・都市センターホールにおいて、「二〇〇六年～二〇〇七年度第二回保団連代議員会」が開催された。

今次代議員会では、第一回代議員会以降の会務報告と二〇〇七年度予算案説明、組織運営に関する討議につづき、リハビリ・療養病床・歯科医療等の診療報酬改善や、審査・指導、診療報酬オンライン請求、休業保障制度等について各協会からの発言と保団連からの答弁が行われた。

出席者は代議員百十五人(定数百十六人)、理事会構成役員、監査・顧問・参与、オブザーバーら六十四人、事務局百二十一人、合計三百人が出席した。

石川協会からは井沢宏夫代議員と平田米里代議員、小野事務局員が出席した。

本紙十月号から連載した「保険者による特定健診」について、井沢会長が口頭発言を行う予定であったが、組織活動分野の討論が長引いたため、急遽、文書発言に変更した。

『保険診療を充実することを目標として、国民の窓口負担金を提供する』ことを目標として、国民の窓口負担金を提供する保団連にとって、許しにくい、より安全な医療

がたい改善が毎年異常なスピードで次々と政府から打ち出されてくる現状に危機感を感じていることか、または、保団連のひとつの柱となっている休業保障制度の維持存続の危機に危機を感じてか、全国代議員のほぼ皆出席のもと、熱気あふれた大会が開催された。

発言通告の最多を集めたのは共済制度問題で、会員の関心の高さを物語った。現状維持を図るため『適用除外』を求める署名活動をさらに迅速強化する運動を続ける一方で、次善の策として共済協同組合設立をも視野に入れた運動方針が議論された。

### 共済制度に 関心集まる

# 「第2休業保障制度」 更新期募集中

募集期間:2月1日～2月28日

- ◎ 万が一に備えて安心の大型補償  
(月間所得の範囲内であれば、月額最高(300万円を上限)まで補償されます。)
- ◎ 無事故の場合、保険料の20%が戻ります
- ◎ 面倒な加入審査は不要です  
(加入時に現在の健康状況を告知するだけで面倒な診査は必要ありません。)

### 保険金のお支払例

45歳の医師・歯科医師で10口(1口10万円)ご加入の場合

- 月額保険料 21,800円(2,180円×10口)
- 月額保険金額 100万円
- 免責期間7日間

就業不能開始日

2007/6/1      6/8      7/7      8/7

免責7日間	月額100万円	月額100万円
-------	---------	---------

### 募集再開に関して

三井住友海上火災株式会社が、「保険金の不払い・支払漏れ」を理由に昨年6月より保険業法に基づく行政処分を受けました。当会の所得補償保険についても契約締結・募集にかかわる業務を停止、新たな加入の受付ができず、加入を希望される方にはご迷惑をお掛けしておりました。このたび金融庁は団体契約の複利厚生事業とみなされる所得補償保険(第二休保)について加入受付を認め、受付再開となりました。ぜひご加入を検討ください。

お問い合わせは・・・ 保険医協会 (076-222-5373) まで

石川協会は、議長から予め定め時間制約がかかったこともあって、予定されていた発言を急遽、文書発言に切り替え、議事運営に協力することとしたが、その内容は執行部も認めたように、全国に広く注視されるべきものであった(下記発言内容参照)。

### 第2回 保団連代議員会発言趣旨

## 特定健診・特定保健指導について

会長 井沢 宏夫(金沢市・内科)

政府の医療費適正化計画の柱の一つとして、老健法による自治体健診が廃止され、新たに医療保険者に対して「生活習慣病」に特化した「特定健診・特定保健指導」が義務づけられ準備がすすめられているが、きわめて問題が多い。

- ①住民健診の実施主体が地方自治体から保険者に移るため、医療保険の未加入者が受診の機会が与えられない。
- ②健診の実施率や、保健指導による「メタボリック症候群の減少」が数値目標に達成しないと、保険者への拠出金を削減できるため、保険者同士が競合させられ、成果の上げにくい国保などで赤字が拡大することは必須である。
- ③また、医療機関でない民間事業者を参入させコスト競争や「医療へ移らせない」競争を行なわせるなど、「国民の健康向上」のためではなく、財界主導の「医療費削減」と「保健事業の民間市場拡大」が主要な眼目と言ってよい。

昨年8月以来、石川協会では産業医の理事を中心に、特定健診・保健指導について協会新聞に3カ月にわたり解説記事を掲載し、会員に注意を喚起し、新年号には小松市のモデル事業関係者と県医師会担当理事との座談会を載せた。

また、昨秋以降、北信越ブロック会議、保団連政策部会、地域医療対策部会などでも積極的に問題提起し、オピニオンリーダーとして役割を果たした。

今後、『月刊保団連』2月号から関係論文を掲載させていただく。

今年は特定健診の実施に向けて、各協会がどう対応していくか検討すべき時期かと思うが、保団連としても特定健診・特定保健指導問題への取り組みを早急に強め、全国各県での状況や取り組みを知らせていただきたい。



九条の会・石川医療者の会準備会

協会会議室で憲法学習会  
憲法を「反故」にする国民保護法

九条の会・石川医療者の会準備会では、一月二十五日(木)協会会議室にて、金沢合同法律事務所

国民保護計画の進行状況とその問題点

まず、飯森氏は国民保護法の現段階として、二〇〇六年一月二十日に石川県国民保護計画が承認済みであること、二〇〇六年度中を

持論

高齢化社会が進むにつれ、社会保障費は増えて行くものであり、これをどう賄うかという議論は避けて通れないものとなっている。そのときに決ま

社会保障の理念に反する  
消費税率の引き上げ

各メディアでは国や地方自治体の歳出増加を語る際には、枕詞のように「社会保障費などの増加に伴い」という文言が使われ、社会保障が大きな財政負担

上げの隠れ蓑にしてもよいだろうか。そもそも消費税というものは最も逆進性の高いものである。社会保障費のためにこの税率を上げるなどということは、

い印象である。完全失業率こそわずかに改善したものの非正規雇用ばかりが拡大し、人件費は圧縮され、その犠牲の上に多くの企業が空前の利益を計上している。



講師の飯森和彦弁護士

ある自然災害と回避可能な「武力攻撃災害」との混同によって、武力攻撃がいかに自然現象であり「協力しなければならぬ」と意識させるような危険性をはらんでいる点、理解しないままにすでに組み込まれ、訓練などがすでに実施されている点などの問題を指摘した。

国民保護計画、ともに医療従事者・医療機関が完全に組み込まれていることが、識文を挙げ紹介された。施設

このように、現在私たちが知らない間に着実に国民保護計画が策定され、戦時

か)について、私たち一人ひとりが見定め、この重大な動きを注視していく必要がある。

講演の後に

講演後参加者からは「この法律は、違憲ではないのですか」との質問に「違憲ですよ、でも裁判所が憲法判断しないですから」とのやりとりや、「心肺蘇生法・AED(自動体外除細動器)の普及や、すべての医

囲碁解答
黒1から3が好手で以下黒9まで白はイに打てなく白死です。黒1で4あるいは5では白1で活き。黒3で4は白3でやはり活きます。

将棋解答
(正解) 3四香、同飛、3一馬、同玉、3三香、同飛、2三桂、同飛、5三角、3二玉、4二角成まで十一手詰め。

石川協会 第33回 定期総会の開催案内

とき 2007年3月17日(土) 午後6時~7時半 記念講演 午後7時半~8時半 総会議事

ところ 金沢都ホテル 5階加賀の間 (総会記念講演)

演題 雇用と働き方の戦後史 ~安心して暮らせる社会への手掛かりを求めて~

講師 金沢大学経済学部教授 伍賀一道 先生

※記念講演は無料で、どなたでも参加できますが、準備のため3月12日までに申し込みください。(電話076-222-5373)

【講演要旨】

今日の日本の雇用と働き方・働かせ方の特徴は、「非正規雇用(フリーター)の増加」と「正社員の働きすぎ」が同時進行していることである。正社員でない雇用形態が労働者全体の三割を超え、女性では非正規雇用がいま多数派となった。ひとたびフリーターになるとなかなかそこから脱出することが難しい。



月刊保団連臨時増刊号

# 保険医の経営と税務

—確定申告・医業経営改善のために— (2007年版)

ご希望の会員に無料でお送りします  
(注文無料制です。ご希望の方は、お早めに、必ずご連絡を)

確定申告の時期が近づいてきました。保団連が確定申告や日常の経営税務対策のために毎年発行しているテキスト『保険医の経営と税務』の2007年度版が2月初めに発行されました。

2007年税制改正では、大企業減税と国民増税路線を打ち出しました。また、その後の消費税増税計画も準備しています。

今後さらに徴収税勢が強まることを予想されますので、ぜひ活用ください。

保険医協会では、同テキストを希望する会員に無料でお送りします。

\*会員は1冊無料ですが、申し出のあった方にお送りします。

\*2冊目からは有料(定価1,500円)となります。



## —目次—

### 2006年度税制改正の要点と2007年度税制改正のポイント

- 第1章 医業所得の計算と確定申告 記帳・節税・申告・調査
- 第2章 開業・承継・閉院  
開業にあたって、承継時の税務、閉院
- 第3章 相続税・贈与税  
相続税の基本事項、相続税の調査、贈与税
- 第4章 医療法人  
一人医師医療法人のメリット・デメリット
- 第5章 共済制度と税金  
保険医年金、休業保障、グループ生命保険等と税金
- 第6章 スタッフの税務と給与実務の留意点  
パート・アルバイト給与の留意点、スタッフ雇用上の留意点
- 第7章 消費税
- 第8章 地方税の計算  
—巻末資料—  
◇確定申告書の作成、確定申告書の記載例 ◇控除額等計算一覧表  
◇税務調査 対応の心得 10のポイント

## 寄稿

### 病院は今…

# 地域医療への情熱

公立穴水総合病院 院長 横井 克己(穴水町・外科)

医師になって三十一年、地方の公立病院の院長職についてからは十八年、どんな環境下でも、常に目一杯楽しみながら仕事ができ、ことに非常に幸せを感じているが、反面、ここ数年は若い先生方の考え方、行動にも自分と違うものを感じることもあり、一抹の寂しさも覚えている。新任の先生に「どうして医師になったのですか?」とよく聞くのであるが、先生方からは元気の良い返答が帰ってこないのである。私の期待するのは「医師になりたかつ

「家族周囲からすすめられたから」「高校の先生が医学部を薦めたから」「何となく」などと言われると正直なところガツクリである。このままではわが国の医療は崩壊しかねない。今まさに医療全体のこの情熱がかなり下がっているが、臨床研修終了後は、その情熱は低下してしまっている。そのギャップはどこにあるのか? 研修プログラムの魅力などもあろうが、地域での医師不足による過重労働、処遇の問題、あるいは医療事故への対応などが大きな要素であろう。都市部周辺と違って地方の医

師になって三十一、方では平成十六年度から始まった医師臨床研修制度が大きなトリガーとなって医師不足が顕著となり、地域の医療は非常な危機を迎えている。このままではわが国の医療は崩壊しかねない。今まさに医療全体のこの情熱がかなり下がっているが、臨床研修終了後は、その情熱は低下してしまっている。そのギャップはどこにあるのか? 研修プログラムの魅力などもあろうが、地域での医師不足による過重労働、処遇の問題、あるいは医療事故への対応などが大きな要素であろう。都市部周辺と違って地方の医

ろうとも、使命感の誘導、育成は、医学部教育の責務である。使命感とともに医師の素養として幅広い人間性を持たせるような医学教育の改革を強く願っている。使命感、人間性は、いかなる医療環境の変化にも負けることのない大切な武器であるから。

医師臨床研修のプライマリ・医療重視の理念は素晴らしいが、結果として地方の医師不足という事態を引き起こした。学生時代のアンケートなどでは地域医療への情熱がかなり下がっているが、臨床研修終了後は、その情熱は低下してしまっている。そのギャップはどこにあるのか? 研修プログラムの魅力などもあろうが、地域での医師不足による過重労働、処遇の問題、あるいは医療事故への対応などが大きな要素であろう。都市部周辺と違って地方の医

私が勤務している病院は、教育機関で、高度先進医療を進め、特定機能病院の指定を受けています。一フロア五十床あります。

これからは、病院も患者から選択される存在になるので、質の高い医療、看護を提供しなければならぬと、時間外の研修、研究、講演会と、半ば強制的に時間外参加させられています。

その上、二〇〇六年四月の診療報酬改定以後、日常的といっても過言でないくらいに、スタッフステーションでは患者の入院期間や稼働率、節電、節約など病院の収益に関する会話がされています。

看護体制は二対一、看護師の勤務シフトは三交替で、十六時からの準夜勤は三人、0時からの深夜勤は二人

医師不足は、即、医療不足に直結する。医師臨床研修終了後に地域の医療への従事義務化、診療報酬上、地域の実情に応じた都市部との区別など、国の施策として一刻も早い実現を願っている。

厳しい医療環境の下、医療機関の経営赤字問題が盛んに議論的になっていく。医療機関、医療器メーカー、製薬会社など、医療に携わっているものの中で、赤字は医療機関だけで

ある。医療機関は経営感覚に疎い(?) ということを感じる。この現実が、納得いかならないものがあり、特に製薬会社の経常利益は、たな論調が非常に少ない。国の医療不信を少しでも緩和する責任がマスコミにもあることを、関係者には強く意識していただきたい。

地域の医療に取り組んで約二十五年、最近では医師不足に始まる難局のオンパレードであるが、決して悲観的ではない。妻をはじめ

自分が支えてくれる家族や信頼できる素晴らしい仲間、困られて、難局打破に立ち向かうことに喜びすら感じている。地域医療の現状は確かに厳しいが、それを苦悩とするかは一重に自身の気持ちの持ちようである。

若い医療者よ、いつでもチャレンジ精神を持って地域の医療に立ち向かって欲しい。そのための支援はできる限り惜しまない覚悟である。



## 看護師が見た

### 医療現場

# 休日に体が休まらない

(県内公的病院・看護師)

が基本です。

夜勤帯の食事を中心に、身回りの援助が必要な時間帯に、病棟ごとに独自に早番や遅番を作っています。

週休二日制ですが、二日連続で休むことができません。勤務と勤務の間隔は日勤(十七時十五分終業) ↓ 深夜(0時始業)、準夜(0時四十五分終業) ↓ 日(八時三十分始業)で、身体が休まらないまま働いています。公休 ↓ 深夜、準夜 ↓ 公休の時もあり、有意義な休日とならず、次の勤務のために身体を休めておくのみになっている看護師が多いです。

毎日ヒヤリ、ハットと働いていきます。始業時間より早く出勤して患者情報や業務内容を把握する、残業が多く帰宅時間が遅い等々、特に小さな子どもを抱えている看護師は、病棟では動きにくい状況になっていきます。

このようなことになっていくため、就職して三〜四〜五年とこれから能力が発揮できず、

入院患者のおかれている状況といえば、ナースコールしても「しばらくお待ちください」と言われながら、なかなか看護師が来てくれないと不満が募ります。

一人の看護師が担当する患者の数が多くともあります。病棟が大きく、ナースセンターから端にある病室が遠いことにも一因があると思います。

また、稼働率を上げるための空床の有効利用として複数の科の患者を入院させるため、病棟業務は煩雑になり、看護師も自信をもって対応できずにいることがあります。

患者生き生きと働きたい。患者に優しく接したい。日々進歩している医学に遅れないよう、また看護独自の発展の為に、勉強したいのですが、疲れすぎます。率直な気持ちです。医療に手厚い政策が必要です。

ある。医療機関は経営感覚に疎い(?) ということを感じる。この現実が、納得いかならないものがあり、特に製薬会社の経常利益は、たな論調が非常に少ない。国の医療不信を少しでも緩和する責任がマスコミにもあることを、関係者には強く意識していただきたい。

地域の医療に取り組んで約二十五年、最近では医師不足に始まる難局のオンパレードであるが、決して悲観的ではない。妻をはじめ

自分が支えてくれる家族や信頼できる素晴らしい仲間、困られて、難局打破に立ち向かうことに喜びすら感じている。地域医療の現状は確かに厳しいが、それを苦悩とするかは一重に自身の気持ちの持ちようである。

若い医療者よ、いつでもチャレンジ精神を持って地域の医療に立ち向かって欲しい。そのための支援はできる限り惜しまない覚悟である。



# 切腹

一九六二年(日本)  
【監督】小林正樹  
【主演】仲代達也

骨のある時代劇なら、仲代達也が快演したこの

## 映画狂のつばき おすすめの1本 その② 奥田 宏(金沢市・心療内科)

作品を挙げたい。物語は、江戸時代の太平の世が始まったが、徳川幕府の専横のため浪人と成り果て、苦しい生活を送る元武士が、武家社会の虚飾と武士道の残酷性を暴くというものである。寛永七年、井伊家上屋敷に元芸州福島家浪人津雲半四郎(仲代達也)が訪れ、玄關先での切腹を申し出る。井伊家の家老斉藤勘解由(かげゆと読む、三国連太郎)は、春先にも同じ申し出をした若い浪人を思い出す。浪人の当世流のたかりを

苦々しく思った勘解由(麻)と夫婦であったと言うので、そこで聞いている勘解由をはじめとする井伊家の面々は驚いてしまふ。そしてさらに、驚愕の事実が明らかになつてくる。何と彦九郎を始め、半四郎が介錯をと指名した面々は皆本日は出仕できないという証拠を半四郎は突きつけたのだった。

その日は、出仕していない彦九郎を待つ間に、半四郎は身の上話を始める。話の中で春先に惨死した浪人千々岩求女(ちじいわもとめと読む、石浜朗)が出てきて、実は自分の娘の美保(岩下志

命、八人に重症を負わせ、半四郎は井伊家先代の鎧兜を投げ捨てて切腹して果てた!

橋本忍のすごい脚本、和楽器を使い緊迫したドラマを盛り上げた武満徹の音楽、そして圧倒的迫力のある時代劇に仕立てた小林正樹監督。一九六三年のカンヌ映画祭ではルキノ・ビスコンティ監督の名作「山猫」とグランプリを争い、審査員特別賞に輝いた傑作である。

### 【訂正とお詫び】

本紙新年号掲載の「硫黄島からの手紙」の文中で、梯久美子さんは栗林中将のご令嬢ではなく、熊本県出身のルポライターです。お詫びして訂正します。

## 新刊紹介

### 「医療改革法」で どうなる、どうする

●著者:日野秀逸・寺尾正之  
●出版:新日本出版社

紹介者 副会長 喜多 徹(野々市町・内科)

2006年6月に総数12本に及ぶ医療改革諸法案が成立した。今回の改革は、国民皆保険実施以来の最大の改変とも言われている。この法案についての綿密な分析と評価・反論そして対抗策を提言したのが本書である。

本書は二部構成で、第一部では、医療と構造改革として、医師不足問題と、日米資本による、医療保険や混合診療、営利資本による病院経営への参入問題などを具体例を挙げて解説している。

第二部で、今回の医療改革法について論じている。後期高齢者に対する医療制度や政府管掌健康保険が都道府県単位に再編、保険料も都道府県単位に設定される一方、医療費削減の数値目標の設定、都道府県ごとの診療報酬点数が設定とまさに負担の公平と給付の平等を大原則としてきた日本の医療が、崩壊の危機に直面することを指摘する。

また後期高齢者には、「心身の特性にふさわしい」と言う口実で、入院・外来共、包括定額制が導入され、後期高齢者のほぼ全員が都道府県単位の保険者である広域連合に移行し終生保険料を払わされる。保険料徴収も介護保険と同様、原則として年金から天引、保険料を滞納すれば国保と同様、「資格証明書」を発行するとなる。また医療費が減るかどうかがEBMに乏しい、特定健診・保健指導の強引な導入。公的医療機関に代わる社会医療法人制度の導入等々、医療改革法案はきわめて問題が多く、政府の国民の健康に対する責任の放棄、憲法25条からの逸脱であると断定する。

このような医療改革法案の対抗策として、本書では、医療政策や社会保障を改善する原動力が「事を起こし、騒ぐ」ことを朝日訴訟や、1960年代のポリオ流行の際の旧ソ連からの生ワクチンの緊急輸入などの実例を示して提言し、最後に憲法九条と二五条を土台にした平和経済のもとに個人消費を高めることが、医療改革の正しい道筋と強調している。本書は時宜を得た良書であり、皆様にお薦めしたい。

# The PT & OT

OT編 その⑤

## 「介護予防教室」はじめました!! ～地域との連携に向けて～

医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院 作業療法士 岡田 千砂

地域へ向けて退院!と言われてはいるが、社会的入院の多い精神科の病院ではなかなか退院へつながりにくく、地域からの偏見も強いのが現状であろう。

当院は精神科の病院であり、地域からの偏見も強い。最近やっと地域の文化祭に「作品を出品してくれないか?」と依頼があったり、当院での行事(盆踊りや文化祭など)に、地域の方が参加してくれるようになってきている。しかし、実際に地域の方と人間関係を作っていくには、かなりの労力も要し、長年の偏見もなかなか消えていかない・・・。

そこで、昨年末より、地域の中で「介護予防教室」を開催することを提案し、町会の協力の下、月に1回のペースで行うことができています。

スタッフは、作業療法士と看護師。看護師の血圧測定のと、作業療法士の私が、転倒予防体操、認知症予防のための音楽や回想、健康講話などを行う。最初は、「何させられる?」と半信半疑だった住民の方も、「久し



“あと出しジャンケン”で、前頭葉を刺激!

ぶりにこんなに笑って、楽しい時間が過ごせた。」「月1回といわずに毎週行なって欲しい」と好評である。

はじめてまだ間もないが、月1回の集まりが、いつしか老人クラブの集まりになりつつあり、昼食会を兼ねて憩いの場と変化してきている。この場が「いきがいの場」になれば・・・と思っている。

地域に受け入れられる病院を目指して、人と人との出会いを大切にしていきたい。



# 会員リレーエッセイ

## 障害児の

### (リ)ハビリテーションに

#### 携わって

林 律子 (金沢市・小児科)

小児神経を専門に、特に障害児の(リ)ハビリテーションを中心に小児医療に携わってきた。時期と働く場所によって対象の子どもたちは脳性麻痺、ダウン症、自閉症そして軽度発達障害と変わってきている。

医師になりたての一八八〇年代は、ドイツからボイタ法、イギリスからボバース法と脳性麻痺の新しい治療法が紹介され、リハビリテーション医療は成長期だった。実際にイギリスに行き、ボバース法の研修を受けてきた。そして早期訓練で治ると信じ、乳児健診などで脳性麻痺の早期発見に努め、早期訓練を行った。麻痺そのものは治ることはなかった

が、脳性麻痺の子どもたちは、様々な補装具や生活用具を使って動き、いろんなことを経験できるようになった。

新生児の時に診断されるダウン症の子どもたちも、早期から訓練することで正常に近い発達になるといわれ、乳児早期から訓練を行った。知的な遅れは追いつくことはなかったが、人が大好きで愛嬌のあるダウン症の子どもたちは、早くから集団生活を楽しむことができるようになった。

今は典型的な自閉症や、ADHD、学習障害、高機能自閉症などの軽度発達障害の子どもたちも診ている。今回も早期診断や早期支援の重要性が叫ばれている。重要だといわれると些細なことでも見逃さないようにと頑張ってしまうが、軽度発達障害の子どもたちは、脳性麻痺やダウン症のような明らかに目に見える障害ではなく、子どもの六〇七〇%にも認められるといわれている障害なので、「適時診断、適時支援だよ」と心の中で唱えながら診ている。同時に脳性麻痺やダウン症の時と同じように、医療が積極的にかかわることで軽度発達障害の子どもたちの育つ環境がきつと良くなるとも思いながら診ている。

早期から成長著しいダッシュ型や大器晩成のラストスパート型、立石に水の雄弁型や慎重な熟慮型、

と子どもの発達スピードも質も多様性に富んでいる。大人よりずっと個性的だから「画一的に見ないで欲しい」。子どもの周りにあふれる刺激や情報はすべて初めての経験だから、それによる「混乱や不安を受け止めて欲しい」。多分、子どもたちはそんなふうに言っている。

子どもたちを取り巻く社会が想像を超える速さで変化している中で、診療所のできる障害児(リ)ハビリテーション医療は子どもたちのトランスレーターの立場になることが第一義である意識する。子どもの個性と混乱を子どもに代わって親や周りの大人に伝えることや、逆に大人の社会を子どもに理解しやすい形で伝えることで、子どもの成長と生活を支援している。

ずっと生活支援を中心にした医療を行ってきた。治し治るといって医療ではないが、一つの大事な医療の形だと思ふ。

昨夏、小児科医の集まりで障害者自立支援法の勉強会をした。その時、大人になった重度心身障害者の終末期も含めた在宅支援や、軽度発達障害者の就労支援も含めた青年期の支援について、小児科医の関わりの可能性と重要性を語った。そのことを書くようにといわれたが、形になっていないものは書きにくく、今までしてきたことを書いてみた。

## 原稿募集中

趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076 (222) 5773

## 金原武司先生の

# ポルトガルの旅

4回シリーズ

## 天正遣欧使節の足跡を訪ねる③

金原 武司(内灘町・皮膚科)



黒マント姿のコインブラ大学の女子学生

### コインブラにて

一五八五年十二月下旬、使節らはコインブラを訪

問、ヨーロッパ最古の大学の一つコインブラ大学は、歓迎のため休講になったこと。イエズス会聖堂の

祝日では九カ国語で説教が行われ、ロヨラ部は黄色)、在学中は黒マ修道士が日本語で説教し、列席者一同彼を賞賛したとの

ことです。コインブラは人口約十万人の都市で、五分の一が学生という学都です。大学

旧大学構内でマント姿の学生をみかけな

### もう一つのコインブラ

余談ですが、コインブラについての私の関心事がもう一つありました。

一五五一年フランススコザビエルが日本を去るとき五人の日本人を伴い、そのうちの二人をヨーロッパへ派遣しようとしたこと

さて、使節たちはさらに

キリストの生誕地と同じ

のほどでもてるしとのこ

と。かつての旧制高校の

に内部回廊の修飾の美しさ

は感動的でした。

のハナシもありま

す。二人のうち山口出身の

各修道院、次いでナザレの

聖母教会を歴訪しリスボン

のハナシもありま

す。二人のうち山口出身の

各修道院、次いでナザレの

聖母教会を歴訪しリスボン

のハナシもありま

す。二人のうち山口出身の

各修道院、次いでナザレの

聖母教会を歴訪しリスボン

のハナシもありま

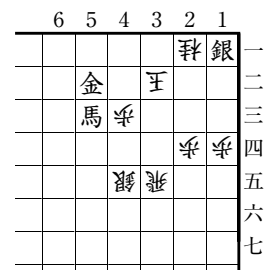
す。二人のうち山口出身の

各修道院、次いでナザレの

聖母教会を歴訪しリスボン

## 将棋

出題 六段 高田尚平



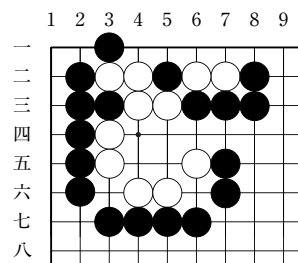
持駒 角桂香香  
(ヒント) 守りの飛車を逆用する。10分で1級。

(解答は2面にあります)

## 囲碁

出題 九段 佐藤昌晴

黒先白死 5分で上級者  
(ヒント) 初手が急所です。



(解答は2面にあります)

勝利の聖母マリア修道院は一三三五年スペイン・カステイリヤ軍の侵攻に勝

守ったことを記念して建設され、今でも現役の陸軍兵士が守衛を努めています。これもゴシック・マヌエル様式の大寺院で、とくに内部回廊の修飾の美しさは感動的でした。

### ナザレにて

キリストの生誕地と同じ

名にナザレは、崖上と砂丘

上に分かれて建ち並ぶ町で

す。夕刻、大西洋の荒波が

打ち寄せる海岸通りを散歩

すると、レストランの店頭

### バターリアにて

アルコバサのサンタ・マリア修道院はさらに古く、

### アルコバサにて

アルコバサのサンタ・マ